

先人たちが記した  
自然の暦の名は、

「二十四節気・七十二候」。

まるで  
うたうように  
まるで物語のように  
大切なことを  
伝えてくれる暦。

これはきつと、

私や

あなたのために  
残されたものなんだろう。

暦に込められた意味と

その季節に読まれた和歌を超訳

『いとし、君へ。』